

舞鶴市内の中小企業景況調査のまとめ

今期	令和6年 4月	～6月期の実績
来期	令和6年 7月	～9月期の見通し

舞鶴商工会議所
中小企業相談所

この調査は、令和6年6月に実施した4月～6月の中小企業景況調査に係るアンケート（毎四半期実施）の結果をまとめたもので、今回の調査対象は市内の中小企業123事業所（前回123事業所）、有効回答数は92事業所（前回95事業所）で回収率74.8%（前回77.2%）でした。

業種別有効回答企業数は次のとおりです。

業 種	回答企業数	構成比 (%)
機 械 金 属 業	13	14.2
建 設 業	16	17.5
織 維 工 業	3	3.3
木 材 業	4	4.3
水 産 加 工 業	6	6.5
サ ー ビ ス 業	19	20.2
小 売 業	15	16.5
卸 売 業	16	17.5
合 計	92	100

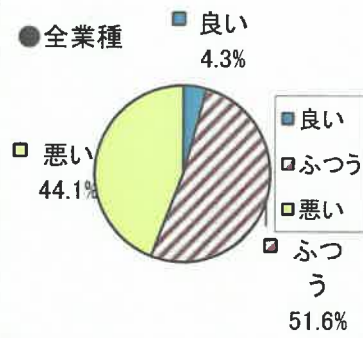
(注) 本文のDIとは「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

【業況の動向】

今期の業況の動向は、全業種でマイナス39.8となり、前期のマイナス29.5に比べて10.3ポイント悪化した。

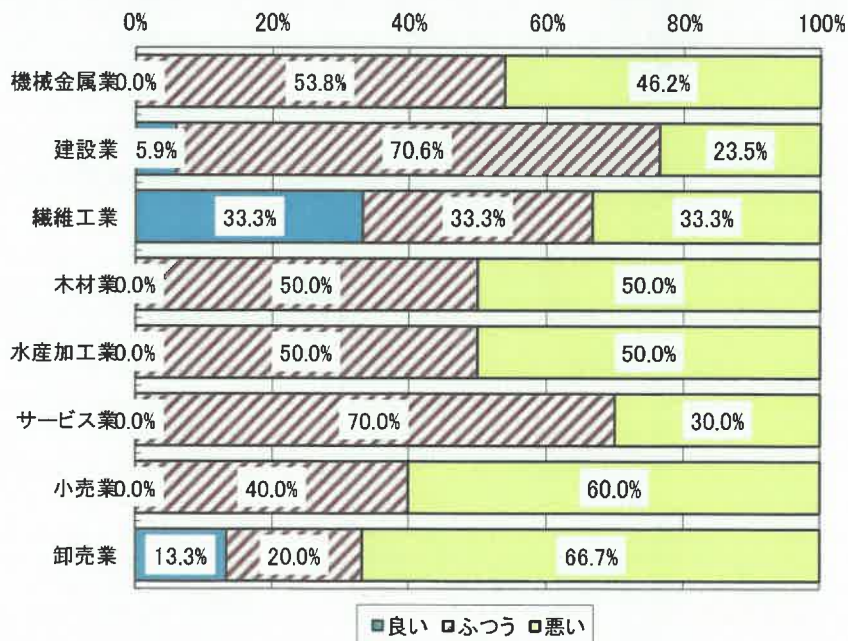
業種別に見ると、機械金属業、繊維工業、水産加工業、サービス業は改善した。一方、建設業、小売業、卸売業は悪化した。(建設業はプラスからマイナス)木材業は横ばいで推移した。(4期連続)

来期は、前年同期比でマイナス29.0となり、今期比でマイナス22.1となる見込み。



業況DI(「良い」-「悪い」)

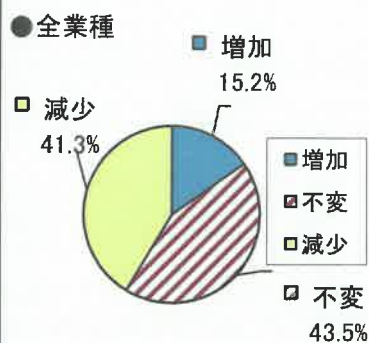
	実績 (今期の水準)					来期見通し (前年同期比)	来期見通し (今期比)
	令和5年 4月~6月	令和5年 7月~9月	令和5年 10月~12月	令和6年 1月~3月	令和6年 4月~6月	令和6年 7月~9月	令和6年 7月~9月
全業種	-31.9	-36.0	-37.9	-29.5	-39.8	-29.0	-22.1
機械金属業	-42.9	0.0	-20.0	-50.0	-46.2	-30.8	-30.8
建設業	-40.0	-26.5	-17.6	5.6	-17.6	-11.8	7.7
繊維工業	-33.3	-33.3	-100.0	-33.3	0.0	0.0	33.3
木材業	-16.7	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0	-75.0	-25.0
水産加工業	-33.3	-33.3	-33.3	-66.7	-50.0	-33.3	-33.3
サービス業	0.0	-38.1	-45.0	-33.3	-30.0	-20.0	0.0
小売業	-43.8	-33.3	-60.0	-33.3	-60.0	-46.7	-61.5
卸売業	-53.8	-69.2	-35.7	-21.4	-53.3	-33.3	-40.0



【売上額の動向】

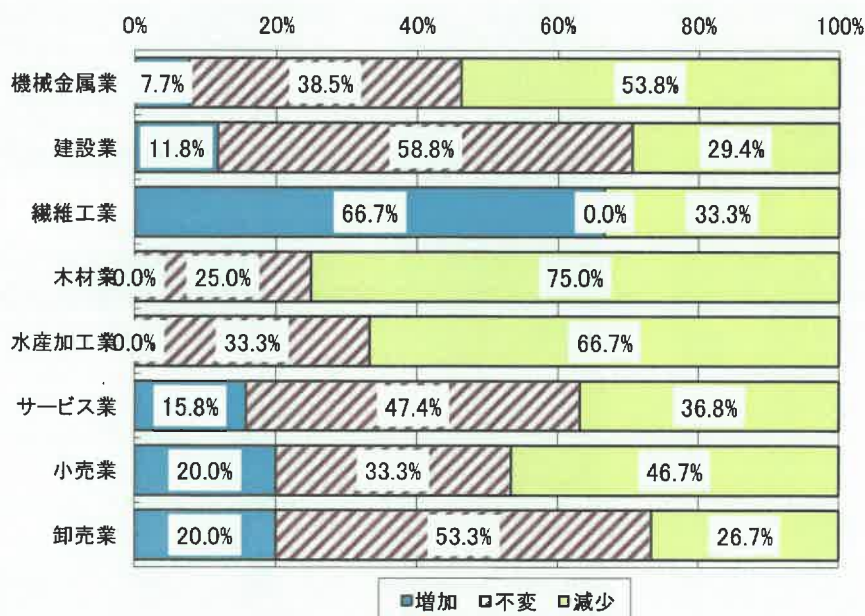
前年同期と比べた今期の売上額の動向は、全業種でマイナス26.1となり、前期のマイナス7.5に比べ18.6ポイント悪化した。来期はマイナス25.8となる見込み。

業種別に見ると、繊維工業のみ改善した。残り業種で悪化した。(小売業はプラスからマイナス)



売上額DI(「増加」-「減少」)

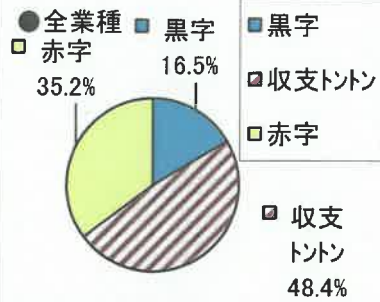
	実績 (前年同期比)					来期見通し (前年同期比)
	令和5年 4月~6月	令和5年 7月~9月	令和5年 10月~12月	令和6年 1月~3月	令和6年 4月~6月	令和6年 7月~9月
全業種	-18.3	-22.0	-12.6	-7.5	-26.1	-25.8
機械金属業	-28.6	0.0	-20.0	-28.6	-46.2	-53.8
建設業	-35.7	-50.0	11.8	-11.8	-17.6	-5.9
繊維工業	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3
木材業	-50.0	-50.0	-66.7	-25.0	-75.0	-75.0
水産加工業	-16.7	33.3	16.7	-33.3	-66.7	-50.0
サービス業	0.0	-9.5	-20.0	0.0	-21.1	-10.0
小売業	-6.3	-46.7	-33.3	13.3	-26.7	-33.3
卸売業	-46.2	-30.8	7.1	0.0	-6.7	-26.7



【採算(経常利益)の動向】

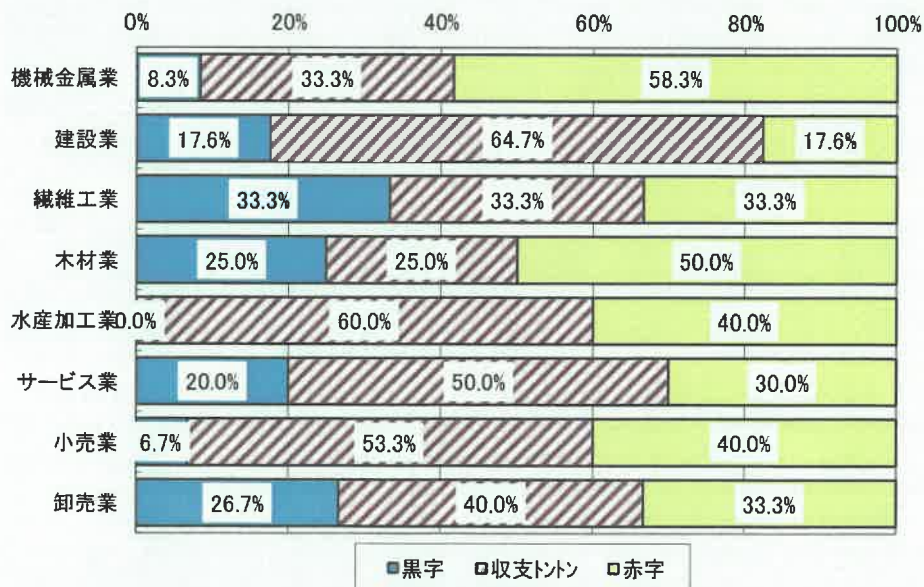
今期の採算(経常利益)の動向は、全業種でマイナス18.7となり、前期のマイナ20.7に比べ2ポイント改善した。来期はマイナス23.9となる見込み。

業種別に見ると、繊維工業、水産加工業、サービス業、卸売業は改善した。(繊維工業は、マイナスから0)一方、機械金属業、建設業、木材業、小売業は悪化した。(建設業はプラスからマイナス、木材業は0からマイナス)



採算(経常利益)DI(「黒字」-「赤字」)

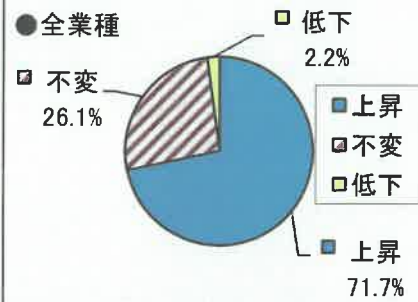
	実績 (今期の水準)					来期見通し (前年同期比)
	令和5年 4月~6月	令和5年 7月~9月	令和5年 10月~12月	令和6年 1月~3月	令和6年 4月~6月	令和6年 7月~9月
全業種	-22.7	-24.7	-16.0	-20.7	-18.7	-23.9
機械金属業	-46.2	-9.1	-6.7	-28.6	-50.0	-61.5
建設業	-40.0	-26.7	-17.6	5.6	-17.6	-5.9
繊維工業	-33.3	-33.3	-100.0	-33.3	0.0	33.3
木材業	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-50.0
水産加工業	-66.7	-50.0	-66.7	-66.7	-40.0	-20.0
サービス業	-26.3	-10.0	-15.0	-33.3	-10.0	-15.0
小売業	-7.1	-33.3	-35.7	-20.0	-33.3	-26.7
卸売業	-23.1	-50.0	-7.1	-21.4	-6.7	-26.7



【材料仕入単価の動向】

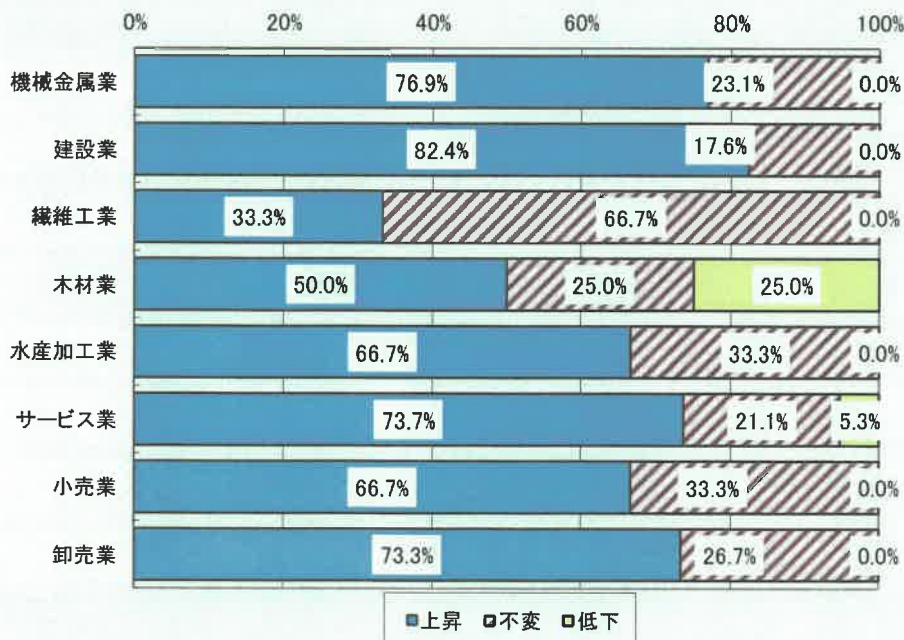
前年同期と比べた今期の材料仕入単価の動向は、全業種で69.6となり、前期の80.2に比べ10.6ポイント下降した。来期は67.4になる見込み。

業種別に見ると、卸売業のみ上昇した。繊維工業は横ばいで推移した。



材料仕入単価DI(「上昇」-「低下」)

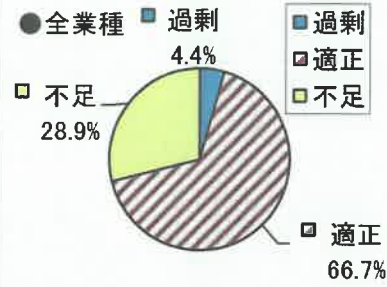
	実績 (前年同期比)					来期見通し (前年同期比)
	令和5年 4月～6月	令和5年 7月～9月	令和5年 10月～12月	令和6年 1月～3月	令和6年 4月～6月	令和6年 7月～9月
全業種	77.9	79.1	79.8	80.2	69.6	67.4
機械金属業	57.1	63.6	78.6	92.9	76.9	69.2
建設業	87.5	100.0	94.1	88.2	82.4	76.5
繊維工業	100.0	100.0	50.0	33.3	33.3	33.3
木材業	50.0	0.0	33.3	50.0	25.0	25.0
水産加工業	66.7	83.3	50.0	83.3	66.7	66.7
サービス業	85.7	80.0	85.0	88.9	68.4	73.7
小売業	75.0	93.3	86.7	80.0	66.7	80.0
卸売業	92.3	84.6	85.7	64.3	73.3	53.3



【雇用の動向】

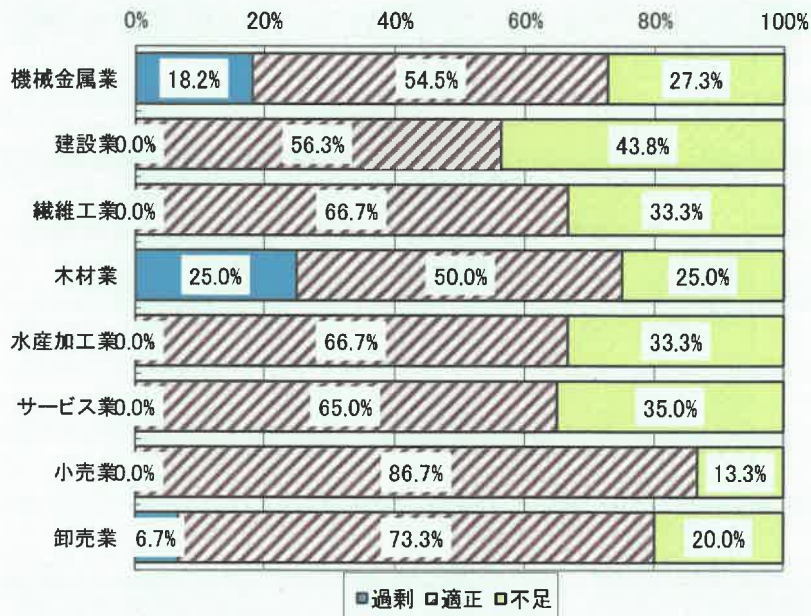
今期の雇用動向は、全業種でマイナス24.4となり、前期のマイナス30.4から6ポイント改善した。

業種別にみると、機械金属工業、建設業、木材業、小売業、卸売業は改善した。(木材業はマイナスから0)一方、繊維工業、水産加工業は悪化した。サービス業は横ばいに推移した。



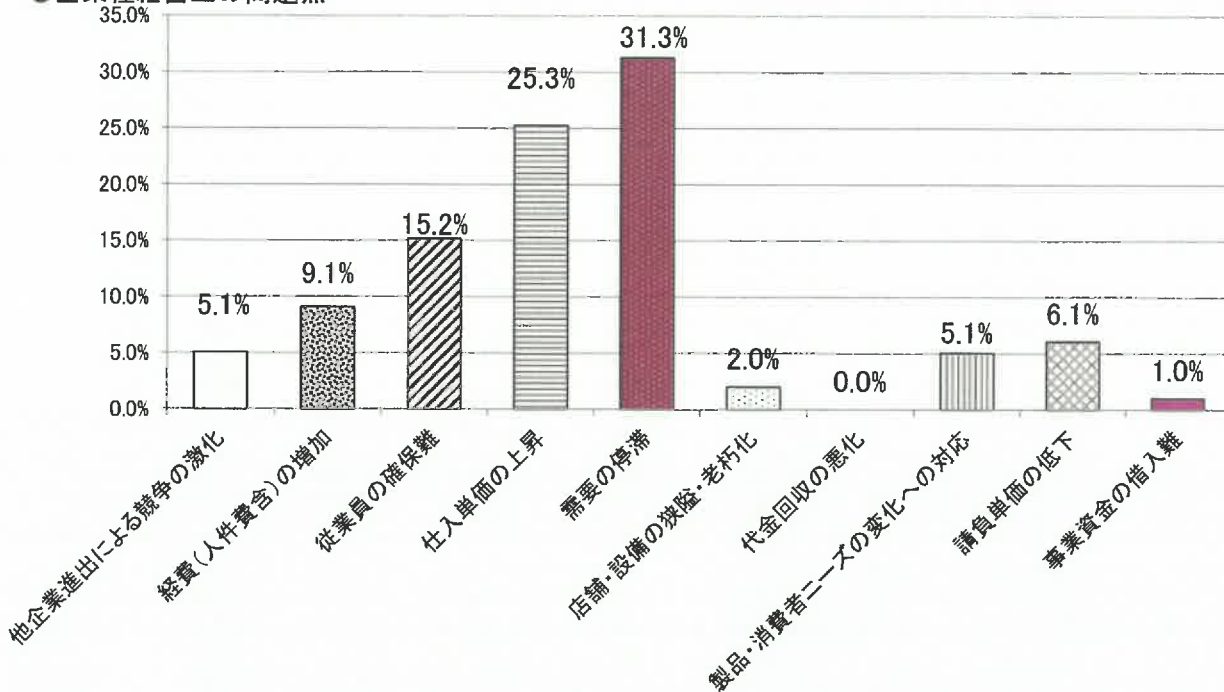
雇用DI(「過剰」-「不足」)

	実績 (今期の水準)				
	令和5年 4月～6月	令和5年 7月～9月	令和5年 10月～12月	令和6年 1月～3月	令和6年 4月～6月
全業種	-23.1	-32.6	-36.2	-30.4	-24.4
機械金属業	-16.7	-36.4	-40.0	-21.4	-9.1
建設業	-40.0	-56.3	-58.8	-58.8	-43.8
繊維工業	-66.7	-33.3	-50.0	0.0	-33.3
木材業	16.7	-16.7	-33.3	-25.0	0.0
水産加工業	-16.7	-16.7	-33.3	-16.7	-33.3
サービス業	-35.0	-45.0	-40.0	-35.0	-35.0
小売業	-18.8	-21.4	-21.4	-20.0	-13.3
卸売業	-7.7	-7.7	-14.3	-21.4	-13.3



【経営上の問題点】

●全業種経営上の問題点



●業種別経営上の問題点

機械金属業	従業員の確保難	26.7%	需要の停滞	20.0%		
	仕入単価の上昇	26.7%				
建設業	需要の停滞	33.3%	従業員の確保難	28.6%	仕入単価の上昇	23.8%
繊維工業	需要の停滞	66.7%	経費(人件費含)の増加	33.3%		
木材業	需要の停滞	50.0%	経費(人件費含)の増加	25.0%		
			従業員の確保難	25.0%		
水産加工業	仕入単価の上昇	33.3%	経費(人件費含)の増加	16.7%		
	需要の停滞	33.3%	従業員の確保難	16.7%		
サービス業	仕入単価の上昇	25.0%	経費(人件費含)の増加	20.0%	需要の停滞	15.0%
					製品・消費者ニーズの変化への対応	15.0%
小売業	仕入単価の上昇	33.3%	製品・消費者ニーズの変化への対応	13.3%		
	需要の停滞	33.3%	請負単価の低下	13.3%		
卸売業	需要の停滞	46.7%	仕入単価の上昇	26.7%	請負単価の低下	13.3%

参考 上位 3位の項目推移

令和6年1月～3月	需要の停滞 28.6%	従業員の確保難 21.4%	仕入単価の上昇 14.3%
令和5年10月～12月	需要の停滞 29.0%	従業員の確保難 18.3%	仕入単価の上昇 15.1%
令和5年7月～9月	需要の停滞 32.6%	仕入単価の上昇 23.65%	経費(人件費含)の増加 14.6%
令和5年4月～6月	需要の停滞 31.9%	仕入単価の上昇 27.5%	従業員の確保難 12.1%